

### ① 第2回ボランティア活動報告会(3月16日・土)

場所 宮城教育大学 管理棟3階 中会議室 参加者 奈良教育大学学生・本学学生  
参加学生の活動紹介後、今後の課題について話し合う時間を設けた。

#### 今後の課題(参加学生より)

- ・教育復興支援センターの存在と役割を大学内外に広く知らせ、学生らが活用しやすい環境づくりをする。
- ・学生へ研修会を行う等、サポート体制も充実させ、ボランティアへ参加しやすい環境も整えていきたい。
- ・大学内でも積極的かつ日常的になるべく報告会等を行い、学生たちに支援の輪を広げていきたい。
- ・ボランティアは、自分のことを自分で責任もってできることが大前提で、余力があってこそ充実した支援を行えるものである。なので、学生らがよりボランティアに参加できるような環境づくりを大学側にも支援して欲しいと思う。



### ② 仙台市博物館より「仙台平野の歴史地震と津波」パネル寄贈

仙台市博物館より遺跡や史料に残る、主な地震災害の記録を時代順に見やすく表現された大変貴重なパネル(B1版・28枚)を頂きました。新センター棟へ展示し、本学の防災・復興教育や教員養成教育等の充実に向けて活用していきます。(4月12日御礼に伺いました。)



### ③ 第3回復興カフェ in Miyakyo (4月18日・木)

平成25年度より本センター特任教授(副センター長)に着任の瀬尾和夫先生に、「宮古市田老地区の現状について」お話しいただきました。第2回に続き、今回も気仙沼事務所へTV会議にて配信しました。



瀬尾先生ご使用のパワーポイント(PDFファイル)を下記アドレスから公開(学内のみ)しています。

<http://fukkou.miyakyo-u.ac.jp/local/caffe3.pdf>





#### ④ タイ教育省教職員開発研究所との連携(4月23日・火)

本学とタイ教育省教職員開発研究所が防災教育プログラムの開発と実践に向けた国際交流協定締結に伴い、タイ王国教育省次官ほか一行が来日しました。本センター教員が名取～石巻訪問に同行し、宮城県総合教育センターで、防災教育のための教材開発について視察しました。また津波で被災した関上の復興商店街や、津波の爪痕を確認出来る日和山を訪問し、地元の校長先生から被災と復興の様子をうかがい、授業を参観しました。教育省次官は、防災教育の分野で情報交換や交流を通じて大災害への備えを学ぶなどの連携事業を進めたい意向を示しました。



#### ⑤ ボランティア協力員 総会(4月24日・水)

昨年度からスタートしたボランティア協力員制度が2年目に入り、2年生になった協力員の呼びかけに応じた新1年生69名を含む約100名が出席しました。総会の進行は2年生連絡員が担当し、和やかな中に終了することができました。5月には協力員対象の「被災地視察研修」も予定されていて、ボランティア活動促進等、今後の活躍に期待が持たれます。



#### ⑥ 第11回 iPad講習会(4月25日・木) & 新聞づくり講習会(5/29)のご案内

第11回目の講習会は、本センター兼務教員の田端健人先生と研究室ゼミとして学生も参加し受講生は8名となりました。次回以降はiPadアプリの講習会を開催予定。また、河北新報社と協同の新聞づくり講習会を開催することを予定しています。

